



こんにちは、スポ推です！

青梅市スポーツ推進委員協議会（スポ推）は青梅市から委嘱された非常勤公務員として、地域のスポーツ・レクリエーションの普及、振興を図る活動をしています。青梅市内の各地区11支会のから選出された25名で、青梅市事務局による運営協力のバックアップを頂きながら活動しています。なお、事務局となるスポーツ推進課は、令和5年度から青梅市教育委員会生涯学習部の所属となり、新たな組織体制で、より地域に密着した活動推進のサポートを頂いています。

活動報告

第1回 住友金属鉦山カップ ボッチャ大会

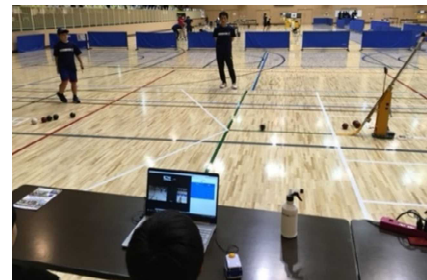
令和5年5月21日（日）

令和5年5月21日、住友金属鉦山アリーナ青梅にて、会場ネーミングライツ企業でもある住友金属鉦山株式会社（青梅事業所）の主催による、第1回住友金属鉦山カップボッチャ大会が開催されました。同社は青梅市の地域貢献活動とボッチャ競技の振興活動として本大会を開催され、スポーツ推進委員もサポート役で参加いたしました。

当日は32チーム、約180名の子どもからお年寄りまで多数参加され、予選リーグ・決勝リーグとトーナメント方式で対戦が行われました。

また、今回はNECプロボノ倶楽部、一般社団法人オンラインボッチャ普及協会の協力による“オンラインボッチャ”の体験会も同時開催されました。会場に行けない方でも、パソコン画面から遠方の相手とボッチャゲームを楽しめる取り組みで会場に来ていた子ども達も興味深々で手伝っていました。色々な参加方法や機会も増えつつあるボッチャ競技ですので、みなさんもぜひ一度参加していただければと思います。

（第1支会 菅野 正浩）



第2回 青梅市ボッチャ交流会

令和5年6月4日（日）

令和5年6月4日（日）第2回青梅市ボッチャ交流会が住友金属鉱山アリーナ青梅で行われました。今回は、36チーム、130名の方々にご参加いただきました。優勝は『HIMAWARI-1チーム』、2位は『OSP2チーム』、3位は『青梅錬心館C』『ナリキッズCチーム』でした。

昨年より、青梅市ではパラスポーツでもある「ボッチャ」を多くの皆さんに知っていただくために活動してきました。

東京パラリンピックでも話題になりましたボッチャは、子どもからお年寄りまでが一緒に楽しめるスポーツです。ルールも簡単で、ジャックボールという的になる白いボールに、赤と青のボールを寄せてきそうゲームです。やってみると、けっこう頭も使うゲームなんです。

新型コロナウイルス感染症も感染症法上の扱いが5類へと移行し、皆さんの活動も活発になってきましたが、ぜひこの機会に新しいスポーツにも挑戦してみてはいかがでしょうか？。

（第1支会 荒井 早苗）



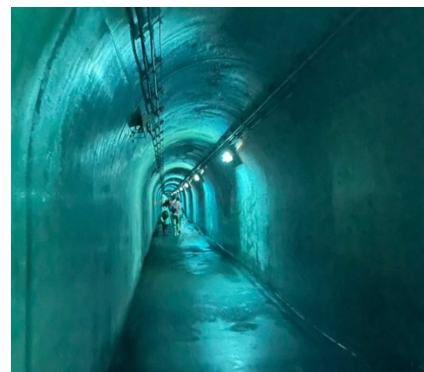
スポーツ推進委員 研修視察旅行

令和5年7月1日（土）、2日（日）

コロナ禍で研修視察旅行も4年ぶりに実施されました。今年度は、新潟県の清津峡トンネルに研修に行って来ました。梅雨時であり、天候も晴天とはいきませんでしたでしたが、トンネル内を歩き色々な風景、景色を堪能出来ました。

青梅市スポーツ推進委員協議会では、色々なスポーツ推進は勿論、他の地域との交流も含め、様々な活動をし、その中で2年に一度他県に研修を兼ねて足を運んでいます。とても為になる研修視察であると同時に普段見られない、委員の皆さんの様子がみられた研修だったと思います。

（第5支会 金丸 典子）



障がい者と家族のスポーツ大会

令和5年9月24日(日)

令和5年9月24日(日) 住友金属鉱山アリーナ青梅において、障がい者と家族のスポーツ大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4年ぶりの開催となりました。

今年から競技を一新して風船バレー・ポッチャ・フリスビーの3種目を各30分間、みんな家族やボランティアの人たちと楽しく賑やかに体験していました。

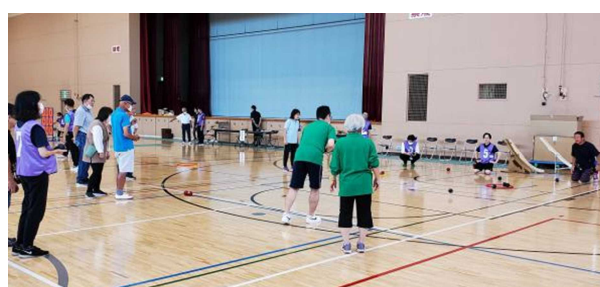
風船バレーは、大きな風船の中に鈴が入っていて、グループで輪になってトスをしあい、長く続けられるように輪を小さくしたり考えながら楽しみました。

ポッチャは、ボールがたくさん入るように目掛けて投げてチームで競い合ったり、個人でいくつ入るか挑戦したりして初めての人も楽しく体験しました。

フリスビーは、1から9の的に当てるディスクゲッターや、輪の中を通すアキュラシーゴールを体験。なかなか真っすぐに飛ばずにみんな苦戦しました。

わずか半日のイベントでしたが、みんなが楽しくひと時を過ごしていました。

(第6支会 浅見 幸男)

**第2期青梅市スポーツ推進計画～誰もがスポーツに親しみ、熱気のあるまち・おうめ～**

青梅市教育委員会では、令和5年度、第2期青梅市スポーツ推進計画の策定をしました。第2期計画では、これまでのスポーツ・レクリエーションの推進に、新たに「つくる/はぐくむ」「あつまり、ともにつながる」「誰もがアクセスできる」という視点を加え、誰もがスポーツに親しむことができる環境整備をすすめていく予定です。

地域のスポーツ振興の最前線にいるスポーツ推進委員のみなさんと力をあわせ、今後もスポーツの推進を目指していきたいと思います。

(青梅市教育委員会スポーツ推進課)

スポーツ DAY 青梅 2023

令和5年10月9日（祝）

昨年に続き雨の降る中で開催となりましたスポーツ DAY 青梅 2023。

屋外のスポーツイベントは中止の所もあり、寂しいスタートだったかもしれませんが、体育館の中はなかなかの盛況さでした。スポーツ推進委員のブースではボッチャを体験してもらい170名を超える方々にご参加いただきました。

小学生は学校で体験をした事があるとの事で、簡単なルールはすでに分かっている様子。体験してもらう内に、お父さんが悔しがったりお母さんが飛び跳ねて喜んだり、そしてお子さんは投げ方自由(奇抜?)で、みんなでやる遊びといった雰囲気がとてもよかった様に感じました。

写真にある、ポイントにボールを投げ置き競う等、新しいルールを独自に作っても楽しいかもしれません。ぜひ、どこかでボッチャに触れる機会があれば一本踏み出しご体験ください。

きっと、楽しいひとときになりますよ。

（第9会 清水 唯人）

これまで開催してきたスポーツ・レクリエーションフェスティバルが昨年リニューアルされ、今年で2回目の開催です。当日はあいにくの雨模様でしたが、「次世代スポーツ体験パーク in 青梅」と題したブースでは、バーチャルで楽しむカヌーやサイクリング、eスポーツなどが体験できるなど、どのコーナーも大盛況でした。

スポーツ推進委員のみなさんには、ボッチャ体験会とファミリーゴルフ体験を企画していただきました。雨天のため、ファミリーゴルフは中止となりましたが、ボッチャ体験コーナーには多くの方にお越しいただき、子どもから高齢者、障がい者まで、多くの方が楽しんでいました。

また、サーカスコメディショーや絵の具を使ったワークショップなど、文化・アートを楽しめる企画も大好評でした。オリンピックが「スポーツと文化の祭典」といわれるように、これからもスポーツ DAY 青梅では、スポーツだけに限らず、生涯学習という広い視点から、楽しいコンテンツと体験機会を提供していきたいと思います。

（青梅市教育委員会スポーツ推進課）



広域地区別研修会(スポ推第7ブロック)

令和5年10月28日(土)

スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、広域的な連帯協調を図り、必要な地域スポーツ振興のあり方を探る主旨のもと東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会が開催され、第7ブロックのスポーツ推進委員及びスポーツ担当職員の8市町村約90名が参加されました。

横浜ゆるスポーツ協会理事の青井さんから、ゆるスポーツについての講演を聞きました。障がいの有無やスポーツの得手不得手に関係なく、誰もが楽しめるのがゆるスポーツだそうです。ゆるスポーツの一つである靴下玉入れの実践を紹介いただきましたが、これがゆるスポーツの魅力なのだと感じました。

ワークショップでは、異なる地域の方々とグループを組み、「だれもが笑顔で楽しめるスポーツ」をテーマに、主管の羽村市にちなんだ「水」をテーマにゆるスポーツを考えました。すべてのグループの成果が披露され、参加者は楽しみ、観覧者は笑い、これがゆるスポーツだと実感しました。

短い時間でしたが、周辺地域のスポーツ推進委員の方々と交流ができて有意義な時間を過ごせました。今回の経験を地域のみなさんに活かしていきたいと思いました。

(第11支会 久保田 靖典)

**第32回 西多摩地域行政圏スポーツフェスタ**

令和5年11月18日(土)

令和5年11月18日に第32回西多摩地域広域行政圏体育大会が羽村市スポーツセンターで開催されました。

この大会は西多摩8市町村のスポーツ推進委員が企画するもので、年齢に関係なく気軽に楽しめるスポーツや、また障害者スポーツのブラインドサッカーなど普段では経験できないスポーツを楽しんでもらいました。青梅市からは、キンボールを準備し大きなボールで子どもから年配の方まで多くの方に経験してもらいました。

また各地区のキャラクターも勢ぞろいし、写真を撮って楽しんでもらいました。来場者にはスタンプラリー形式で各地区を回って帰りに参加賞をもらっていました。

来年は青梅市で行う予定です、また来てくださいね。

(第2支会 細川 昭男)



第19回 ウォーキングフェスタ

令和5年11月23日(木・祝)

令和5年11月23日に第19回ウォーキングフェスタを開催しました。

昨年は雨天中止となってしまいましたが、今年は晴天のもと100名の方にご参加いただきました。参加者の皆様は青梅市役所をスタートして、河辺グランド・友田水管橋・下奥多摩橋・調布橋・鮎美橋などを通してゴールの青梅市役所へ戻る約11kmのコースをグループに分かれ、青梅の自然を楽しみながら歩いていました。

参加者からは「普段は何気なく車で通ってしまう所ですが、歩いてみるといろいろな発見がありました。」「鮎美橋から見る紅葉は非常にキレイでした。」との声もありました。

皆様は普段から歩かれていますか？ウォーキングしてみるとたくさんの発見があります。ぜひ、美しい青梅を歩いてみてください。次回の第20回ウォーキングフェスタは令和6年11月23日に開催予定です。

(第2支会 谷村 光智)

**第85回 奥多摩溪谷駅伝**

令和5年12月3日(日)

令和5年12月3日に第85回奥多摩溪谷駅伝競走大会が開催されました。

今年85回目を迎えたこの駅伝は、昭和11年の青梅市陸上競技会設立と同時に開催された全国でも箱根駅伝に次ぐ歴史ある大会だそうです。

今年も晴天に恵まれ、277チームの選手たちが師走の青梅・奥多摩路を駆け抜け、仲間へタスキを繋ぐ、熱い戦いを繰り広げました。

参加チームは小学生の部、中学生の部、女子の部、一般・大学・高校の部の他、最近では支会・自治会の部もあり、地域ぐるみで応援する姿も見られました。

私たち青梅市スポーツ推進委員は二俣尾中継地点付近から古里中継地点付近までの間のコース整理を担当いたしました。各自の配置場所で選手が安全に走れるよう、また通行人や住民の方に迷惑が掛からないように、周辺の状況をよく確認しながら、必要に応じて声掛けするのが役目です。配置場所では、住民の方から「何時に交通規制が解除になるの?」「先頭の選手は何時ごろ通過するの?」と聞かれることもよくあるので、大会全体の流れも把握しておく必要もあります。

この景観の素晴らしいコースで、全選手が一生懸命タスキを繋いでいる姿を見ていると、つい声を掛けたくなり、私たちもコース整理をしながら、応援させていただきました。

これからも多くのチームがこの奥多摩溪谷駅伝競走大会に出場していただきたいです。

そして私たちはタスキをつなぐ一生懸命な姿に熱いエールを送りたいと思います。

(第8支会 野村 欣史)



令和5年度 青梅市親子ふれあい事業 ボッチャ大会 令和6年2月4日(日)

令和6年2月4日に青梅市と青梅市青少年対策地区委員長連絡協議会主催による親子ふれあい事業ボッチャ大会が、住友金属鉦山アリーナ青梅で開催されました。

68チームが参加され、白熱した試合が繰り広げられました。今大会には大勢待青梅市長も選手として参加され、観客席からは大声援が上がって賑やかな大会となりました。

試合が終わって挨拶をした後に、対戦したチーム同士で戦術のアドバイスを交わし合う場面もあり、頭脳と体を使ったスポーツであることと、幅広い年齢層でコミュニケーションが取れるスポーツであることを実感しました。

自治会ごとにボッチャ体験会が行われ、青梅市のボッチャ競技人口は年々増えてきています。4月と5月には練習会があり、6月にはボッチャ交流会が予定されています。是非興味のある方、よりレベルアップをしたい方は練習会や大会に参加していただき、皆さんと一緒にボッチャ競技を盛り上げていきましょう！

(第7支会 大野 博之)



第56回 青梅マラソン大会

令和6年2月18日(日)

令和6年2月18日(日)快晴の中、青梅マラソン大会が開催されました。

気温18℃と例年にない暖かい日となりランナーにとっては厳しいコンディションとなりましたが、大会にはトップアスリートから一般ランナーまで約13,236名が参加、10kmおよび30kmコースに挑み、12,219名の完走率92.3%と素晴らしい結果を残しました。

また、今年も女子マラソンシドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子さん(Qちゃん!)と、読売巨人軍前監督の原辰徳さんがスターターを務められ、高橋さんはランナー全員を送り出してから自らも走り出し、大勢のランナーに励ましの声を掛けサポートされていました。ランナーの皆さんも大変元気づけられ、楽しく走れたようです。来年もぜひ参加してほしいと思います。



第44回 青梅マラソンコースと梅の里を歩く会

令和6年3月17日(日)

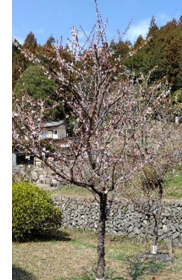
昭和56年3月に『第1回青梅マラソンコースを歩く会』として始まり、今回で第44回目。『青梅マラソンコースと梅の里を歩く会』として3月17日、好天のなか開催されました。

この会はウォーキングというスポーツを通じ、青梅の地域観光のすばらしさ！また新しい旅の魅力を発見し楽しんでいただくことを目的としています。

青梅市役所玄関前広場を10時にスタートして千ヶ瀬バイパス、S&Dたまぐーセンター前、日向和田駅前を通り梅郷4丁目にある梅の公園がゴールの約7kmの起伏のあるコース。お子さまからご年配の方まで400名以上の方々にご参加いただき、普段あまり見ることもない青梅の街並み、自然豊かな景色を楽しんでいただきました。

先頭の方は11時10分頃、最終の方でも12時10分にはゴールし、大事なく会を終えることができ、安心しました。ご参加いただいた方々には「また来年も参加したい！」と思っていただけたら幸いです。

(第4支会 原島 弘)



今後の事業計画と活動報告

- ・ポッチャ体験教室 令和6年4月13日(土)
5月11日(土)、18日(土)
- ・第3回青梅市ポッチャ交流会 令和6年6月2日(日)
- ・障がい者と家族のスポーツ大会 令和6年9月22日(日)

令和6年度は一部委員改選が行われ、新しいメンバーと共にスポーツイベント・レクリエーションに携わって参ります。

次回の「Wa ふれあい」でも、様々な活動状況をお伝えしたいと思いますので、どうぞお楽しみに！